門　谷　行　宏

テ　ノ　ー　ル

リ　サ　イ　タ　ル

〈賛 助 出 演〉 セレスティーナ男声合唱団

平成７年１０月１４日（土）　午後６時３０分　羽曳野市民会館

後　援　　塚本学院校友会

ごあいさつ

ようやく、あの暑かった夏が通りすぎ、過ごしやすい季節となりました。
本日は貴重な秋のひと時を、私と共に過ごして頂けますことを大変感謝致しております。

本日のプログラムは、日本歌曲、カンツォーネ、イタリア歌曲を演奏させて頂きます。多くのご存知の曲が入ってると思います。
また今回、賛助出演として、「セレスティーナ男声合唱団」が演奏されます。
どうぞ最後までごゆっくりお聴き下さい。

では今後共、暖かい御支援のほどよろしくお願い致します。

平成７年１０月　　門谷行宏

出演者プロフィール

テノール　門谷行宏　大阪芸術大学卒業
故浅野定子氏　中納俊夫氏に師事
学校法人塚本学院　浪速短期大学専任講師
塚本学院校友会代議員
日本保育学会会員
イタリアオペラ・イタリア歌曲・日本歌曲を中心に演奏活動を行なっている。

ピアノ伴奏　門谷由美　浪速短期大学卒業
ピアノを河田鏡子氏　声楽を中納俊夫氏に師事
河合音楽教室講師を経て現在
大阪芸術大学芸術学部音楽教育学科在学中
昨年　門谷行宏テノールリサイタルの伴奏を務める

セレスティーナ男声合唱団

１９２２年創立の伝統ある男声合唱団、宗教曲を得意とし、教会での奉仕の他西宮市合唱祭その他に出演、今年四月には豪華客船ふじ丸に招待され、演奏と合唱指導のクルーズを楽しんできました。今日はデュークエイセスの“日本の歌”から五曲を歌いますので聴いてください。

指　　揮　宮林茂晴
ピアノ伴奏　田村依子

	作詩	作曲
[日本歌曲の部]		
荒城の月	：土居晩翠	滝廉太郎
出船の港	：時雨音羽	中山晋平
鉾をおさめて	：時雨音羽	中山晋平
波浮の港	：野口雨情	中山晋平
浜辺の歌	：林　古溪	成田為三
出船	：勝田香月	杉山長谷夫
白月	：三木露風	本居長世
浜千鳥	：鹿島鳴秋	弘田竜太郎
こ、の道	：北原白秋	山田耕筰
かやの木山	：北原白秋	山田耕筰
待ちぼうけ	：北原白秋	山田耕筰
中国地方の子守歌	：日本古謡	山田耕筰
田植唄	：林　柳波	橋本国彦
ふるさとの	：石川啄木	平井康三郎

♪ ♪ ♪ ♪ ♪

[セレスティーナ男声合唱団]		
フェニックス・ハネムーン（宮崎）	：永　六輔	いずみたく
別れた人と（兵庫）	：永　六輔	いずみたく
銀杏並木（大阪）	：永　六輔	いずみたく
女ひとり（京都）	：永　六輔	いずみたく
筑波山麓合唱団（筑波）	：永　六輔	いずみたく

♪ ♪ ♪ ♪ ♪

[イタリア歌曲・カンツォーネの部]	
アル・ディ・ラ	：C. Donida
この胸のときめきを	：P. Donaggio
彼女に告げてよ	：R. Falvo
薔薇	：F. P. Tosti
漁夫は歌う	：F. P. Tosti
マリア・マリ	：E. Di Capua
君を求めて	：E. De Curtis
帰れソレントへ	：E. De Curtis

曲目解説

荒城の月	華やかだった昔の城の情景の想像、荒れ果てた現在の情景、栄枯の感慨が歌われています。日本人なら誰もが知っている名曲です。
出船の港	勇ましく漁をしている様を、浜唄風にあらわしています。
鉾をおさめて	″男らしく爽やかに″と指定されており、中山普平の名声を大いに高める歴史的名歌です。
波浮の港	伊豆の大島の港を通して、島の素朴な生活が描かれています。
浜辺の歌	浜辺を歩きますと、懐かしい昔がしのばれます。この歌は、「荒城の月」と並ぶ日本歌曲の代表的な愛唱歌です。
出船	非常に身近な人が、遠い土地へ旅立つのを、港で見送る寂しい思いを訴えています。
白月	秋の月夜が演出する夜の情景に、我が心も映しだされます。
浜千鳥	青白い月夜の浜辺にいる浜千鳥の情景を、描いています。
この道	北原白秋が、札幌での思い出を歌った詞で、大正当時の街の情景が、くっきりと浮かび上がり、その追憶を格調高く歌い上げています。
かやの木山	冬の夜のいろりばたで、子供を寝かしつける子守歌。
待ちぼうけ	お百姓さんが、木のねっこで兎をつかまえようとしている情景を表しています。
中国地方の子守歌	赤ん坊のお宮参りを前にした母親の心情を歌った子守歌で、我が子に対する愛情がひしひしと感じられます。
田植唄	かけ声も軽やかに田植をする様が、鮮やかなタッチで描かれています。
ふるさとの	ふるさとは素晴らしくて、美わしい感動で心が充ちてきます。

♪ ♪ ♪ ♪ ♪

♪ ♪ ♪ ♪ ♪

アル・ディ・ラ	愛しいアル・ディ・ラに、「自分の命をかけていつまでも愛する」と恋心を切々と歌います。
この胸のときめきを	夜ごと会う恋人に、「君なしでは生きていけない、一人でどうして暮らすのさ、君は僕のものだ」と自分の激しい思いをうたう歌。
彼女に告げてよ	知人を通して、自分の恋している娘のことをうたう告白の歌。
薔薇	以前、好きな人に貰った「薔薇の花」の美しい想い出を、描いています。
漁夫は歌う	海辺を歩く美しい女（ひと）に漁夫が歌うが、立ち止まろうともしない。そして、いつの日か美しい女は消えてしまった。「愛しい女よ、貴女は私の心を奪っておきながら、立ち止まろうとしない」と漁夫は歌います。
マリア・マリ	「窓を開けよや愛しのマリア、美わしい顔いざ見せよ・・」と、愛するマリアの窓の下でうたう愛の歌。
君を求めて	自分から去っていった愛する人に、「恋しい君よ！恋しい君よ！もう一度逢いたい」と、心から歌います。
帰れソレントへ	美しいソレントから船出していった恋人に、このソレントを忘れずに、一日も早く帰ってきてほしいと歌う郷土賛歌。